

交野市教委ニュース

第56号 (平成29年3月17日発行)

小中連携教育から小中一貫教育へ

交野市では、これまでから小・中学校の連携をすすめてまいりました。そして、3月には「交野市小中一貫教育指針」を策定しました。今後は、小中一貫教育を積極的に推進するとともに、平成32年度から全中学校区で交野市の特色を生かした小中一貫教育を行います。

平成28年度は、各中学校区で小中連携の取組みを深めるとともに、PTA・保護者の方の協力を得て「中学校区プラン」の作成とご家庭への配付や、市教委主催の教職員研修の実施等、小中一貫教育導入に向けての準備をしました。4月からは、小中一貫した新たな学びの構築により、これからの子どもたちに必要な力をつける取組みを更にすすめたいと考えています。

2月23日の小中連携担当教員等研修会では積極的な意見が多く出されました。



兵庫県立大学の竹内和雄准教授をお招きし、研修会を開催しました。校区ばらばらに班を3つ作り、現在の自校や校区の取組みの交流や課題の抽出をしたのが、上の3つです。これを班ごとに発表しました。その後、小中連携でどんなことができるか、何か特徴的なことをできないか考え、発表がありました。最後に、中学校区ごとに分かれ、校区として何がしたいか、何ならできるか考えました。熱心な議論が交わされました。

全ての中学校区で「中学校区プラン」が作成されました。(表紙を掲載します)



小中一貫教育の円滑な導入と成功には、教職員はもちろん、保護者や地域の方の協力と、小中一貫教育に対する意識が高まる必要があります。そのために、学校、そして交野市 PTA 協議会をはじめ各学校の PTA の皆様の協力で、この「中学校区プラン」を作成していただきました。「小中一貫教育は地域で子どもたちを育てる教育」とも言われます。「交野で学んでよかった」、子どもたちがそう感じてこれからは生きるよう、中学校区のすべての力を結集して、子どもたちの教育に当たって行く小中一貫教育を進めたいと考えております。